

令和5年度 1学期 国語科【現代の国語】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

教 科	国語	科 目	現代の国語		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	高等学校 現代の国語（第一学習社）				
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

単 元	比較に注目して論理の展開を捉え、要旨を把握しよう。（『水の東西』）	
評価期間	1学期 4～5月	
単元の目標	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能		主体的に学習に取り組む態度
・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。		・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、その論理展開を分析し、説明することを通して、筆者の主張の要点を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点		評 価 内 容
知識・技能		・第1学期中間考査 ・復習プリントの記述内容
思考・判断・表現		・第1学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度		・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察

単 元	修辞について理解して発表し、表現の仕方や論理展開を相互評価しよう。(『羅生門』)	
評価期間	1 学期 5～6 月	
単元の目標	・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 ・ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。	・ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 比喩や言い換えなどの修辞について理解し、主人公の行為を否定する立場と擁護する立場とに分かれて意見を発表し合う活動を通して、自分と異なる意見の論理展開を予想しながら聞き、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理し、自分の考えを広げたり深めたりしようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ 漢字テスト	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 言語活動まとめプリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	情報を集め吟味し、自分の意見や考えを的確に伝えよう。(『ものとことば』)	
評価期間	1 学期 6 月	
単元の目標	・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解できる。 ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	・ 本文や実社会の中から情報を集め、自分の意見を論述することを通して、個別の情報と一般化された情報との関係について理解し、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、自分の意見を明確に伝えようと粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第 1 学期期末考査 ・ 漢字テスト	
思考・判断・表現	・ 第 1 学期期末考査 ・ 意見論述プリント・ノートの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

令和5年度 2学期 国語科【現代の国語】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

単 元	対比に着目して読解し、科学と技術の関係を理解しよう。(『「文化」としての科学』)	
評価期間	2学期 9月	
単元の目標	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できる。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解した上で、科学と技術の現状について自身の意見を論述することを通して、自分の考えが的確に伝わるように粘り強く表現を工夫していく中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期中間考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	修辞を理解し使うことで、自身の語彙や表現を豊かにしよう。(『夢十夜』)	
評価期間	2 学期 9～10 月	
単元の目標	・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 ・ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	・ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 比喩や言い換え、婉曲的な述べ方について理解し、互いの解釈とその根拠について話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしていく活動に粘り強く取り組むことを通して、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 第2学期中間考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・ 第2学期中間考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	死生観について考えを深め、自分の意見や考えを論述しよう。(『城の崎にて』)	
評価期間	2 学期 10～11 月	
単元の目標	・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを工夫しながら、自身の死生観について論述する活動に粘り強く取り組むことを通して、読書の意義と効用について理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

単 元	メディア社会における課題を読み取り、問題意識を持とう。(『現代の世論操作』)	
評価期間	2 学期 11 月	
単元の目標	・主張と論拠など情報と情報の関係について理解できる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・実際にメディア社会に潜む問題点とその解決策について考える活動を通し、情報と情報の関係を理解して、筆者の主張の要旨を把握しようと粘り強く取り組んでいく中で、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・第2学期期末考査 ・漢字テスト	
思考・判断・表現	・第2学期期末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	

令和5年度 3学期 国語科【現代の国語】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 国語科

単 元	情報を吟味し、合意形成の重要性を理解しよう。(合意形成のための話し合いを行う)	
評価期間	2学期 12月	
単元の目標	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	・合意形成のための話し合いを実際に行っていく中で、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようと粘り強く取り組むことを通して、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・話し合いのための準備の記録	
思考・判断・表現	・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・話し合い活動の記録 ・教師による行動観察	

単 元	本文と関連付けながら、自分の意見を明確に論述しよう。(『不均等な時間』)	
評価期間	3 学期 1 ～ 2 月	
単元の目標	・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解できる。 ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	・ 今後の社会に求められることに関する自分の意見を本文中の内容と絡めて文章にまとめる活動を通して、実社会の中から情報を集め、整理し、その妥当性や信頼性を粘り強く吟味して、自分の伝えたいことを明確にしながら、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・ 学年末考査 ・ 授業プリント・ノートの記述内容	
思考・判断・表現	・ 学年末考査 ・ 言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・ 週末課題の記述内容 ・ 授業プリント・ノートの記述内容 ・ 教師による行動観察	

単 元	筆者の意図を理解し、自分の意見をまとめ発表しよう。(『ロビンソンの人間と自然』)	
評価期間	3 学期 2 月	
単元の目標	・推論の仕方を理解し使うことができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・推論の仕方を理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	・推論の仕方を理解した上で、「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者のねらいについて自分の意見をまとめ、発表する活動を通して、自分の文章の特長や課題を粘り強く捉え直そうとし、自らの学習を調整しようとしている。
観 点	評 価 内 容	
知識・技能	・学年末考査 ・漢字テスト	
思考・判断・表現	・学年末考査 ・言語活動プリントの記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・週末課題の記述内容 ・授業プリント・ノートの記述内容 ・教師による行動観察	